

カフキーパー

<併用医療機器>

- ・本品は、大容量低圧カフ付き気管及び気管切開チューブとのみ併用すること。

【禁忌・禁止】

- ・接続チューブは同一患者に対してのみ使用し、再使用禁止。使用後は廃棄し、再滅菌したり再使用したりしないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造等

本品は、大容量・低圧カフ付きの気管内チューブ又は気管切開チューブと併用し、カフの拡張、収縮及びカフ内圧を制御するためのインフレーターである。

1) 構成

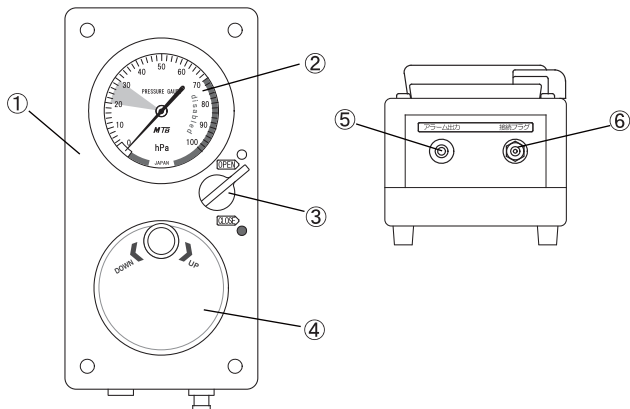
- (1) 本体
- (2) 接続チューブ (付属品)

2) 形状

**1) 本体

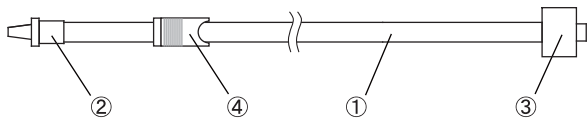
(正面)

(底面)



- ① ケース
- ② 圧力計
- ③ 閉止コック
- ④ ポンプ駆動ハンドル
- ⑤ アラーム出力部
- ⑥ ルアー接続部

(2) 接続チューブ



- ① チューブ (約 200cm)
- ② ルアーリップコネクタ (気管チューブ側)
- ③ ルアーロックコネクタ (本体側)
- ④ 開閉クランプ

【使用目的、効能又は効果】

気管内チューブ又は気管切開チューブが体内にある場合、チューブのカフに空気を注入するために用いる。空気を送るポンプと、カフの過膨張を防ぐために圧力を表示する圧力計を備えている。

【品目仕様等】

1. 測定範囲：0～70hPa
2. 測定精度：±4hPa (20～70hPa)
3. リーク：-0.5hPa 未満 (30hPa で 30 秒間放置した場合)

【操作方法又は使用方法等】

- (1) 本体に付属の接続チューブを取付け、開閉クランプを閉じる。
- (2) 閉止コックを開き (OPEN、黄色○印側)、圧力計が 60hPa を示すまでポンプ駆動ハンドルを時計方向にまわして加圧し、加圧した値が 2～3 秒間維持されることを確認する。

本品の使用前に、カフに異常がないことを確認すること。挿管及び抜管の際には、あらかじめシリンジ又はバキュームを用いてカフの空気を完全に抜くこと。

- (3) 接続チューブを介して気管内チューブ又は気管切開チューブのカフインフレーションラインに接続する。次に、開閉クランプを開く。
- (4) ポンプ駆動ハンドルを時計方向に回して圧力計の目盛が緑色の範囲内に入るように調整する。
- (5) 圧力の設定が済んだら閉止コックを CLOSE (青色●印) 側に回し、ポンプ側からの空気の漏れを防ぐ。
- (6) 気管内チューブに常に接続することにより、本品はカフ圧の自動調整及びモニターとしての機能をする。
- (7) 圧力設定値の変更や環境による圧力変化時は、閉止コックを OPEN (黄色○印) 側に回し、ポンプ駆動ハンドルを操作して圧力を調整した後に、閉止コックを CLOSE (青色●印) 側に回す。

穿刺または肺炎のリスクがあるため、体内に入った際のカフ内圧 20hPa 以上が推奨される。また気管粘膜の虚血症のリスクのため、30hPa 以下を推奨する。20～70hPa の範囲において測定精度は ±4hPa である。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- *1) 本体に振動や衝撃を与えないで下さい。

【保守・点検に係る事項】

1. クリーニング

本体のクリーニングは必要に応じて行うこと。柔らかく毛羽立ちのない布を用い、石けん水で湿らせて拭き上げること。

本品を液体に浸さないこと。本品の表面の消毒清拭の際は、市販のアルコール性消毒液で拭き上げること。本品は、滅菌したり機械的に洗浄することはできない。

【包装】

本体：1 個/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：トクソー技研株式会社

住所：〒879-0232 大分県宇佐市大字大根川 318 番地

電話番号：0978-33-5595

取扱説明書を必ずご参照ください。